

3号機 ガレキ撤去のための 使用済燃料プール内水中事前調査 (3回目) 結果について

平成24年10月22日

東京電力株式会社



東京電力

1. 調査概要

◆目的

3号機使用済燃料プール（SFP）からの燃料取出しを実現するためには、SFP内のガレキ撤去が必要である。そこで、SFP内のガレキ撤去計画の立案に資することを目的とし、燃料交換機、プール内ガレキの落下状況を把握するため、SFP内調査を実施する。

◆作業内容

クローラクレーンより吊り下げた固定式の水中カメラを、免震棟内遠隔操作室から操作し、使用済燃料プール内の燃料交換機及び瓦礫堆積状況確認を実施。

◆作業実績

- ・10月11日（木）
作業人数：19人（当社社員2人、協力企業17人）
- ・10月12日（金）
作業人数：18人（当社社員2人、協力企業16人）

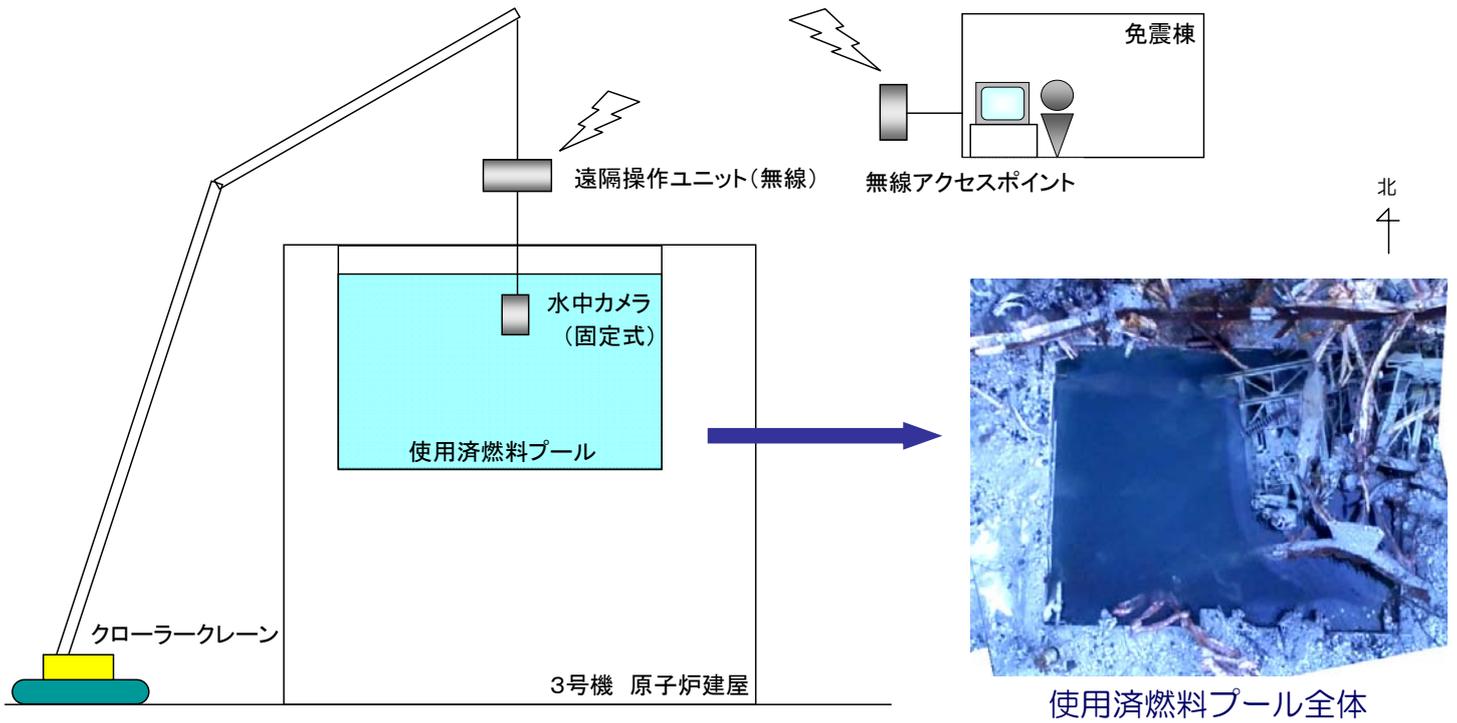
◆調査結果

燃料交換機が、オペフロ北東(SFP付近)から北西(SFP内)にかけて落下していることを確認した。

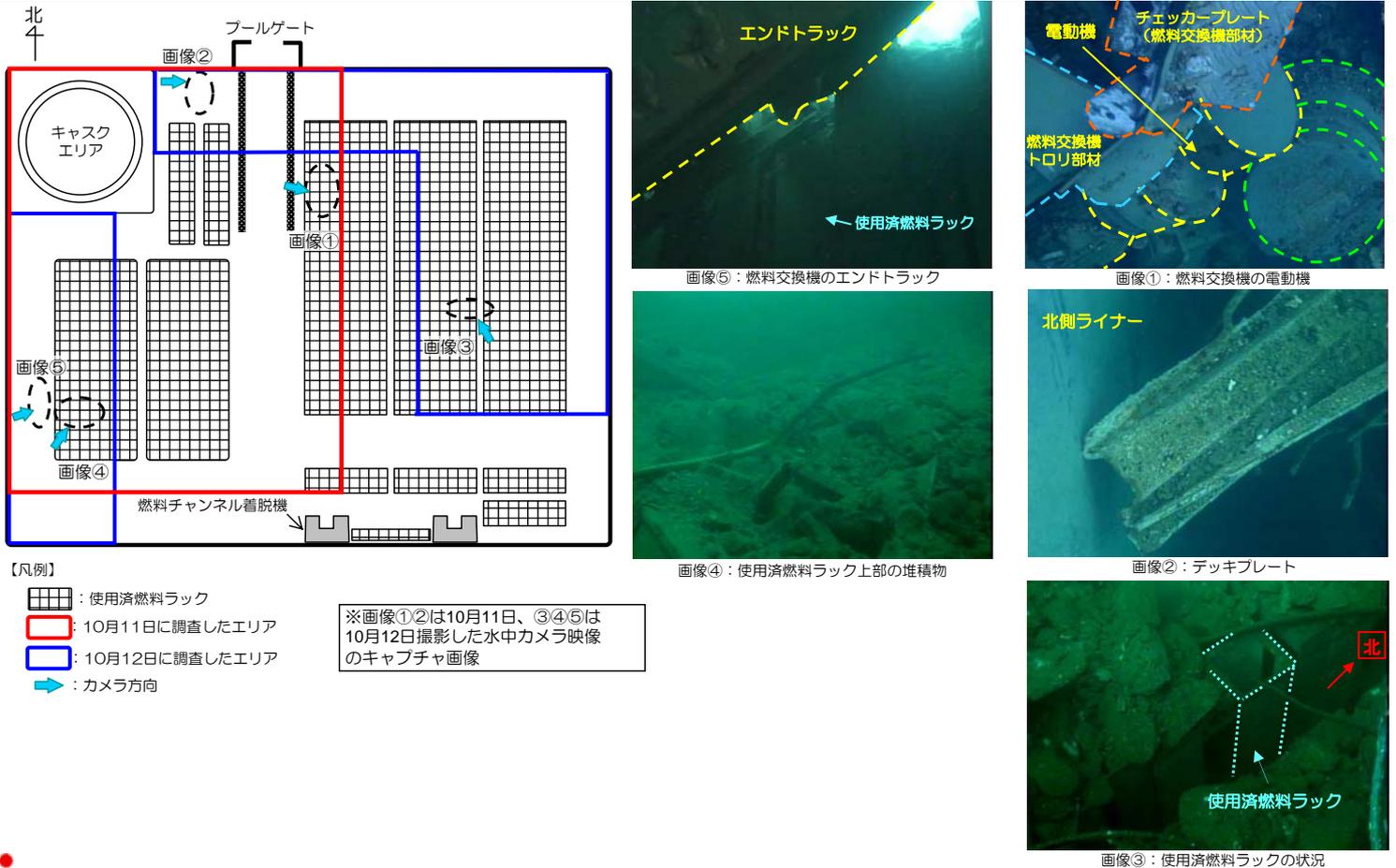


東京電力

2. 調査イメージ

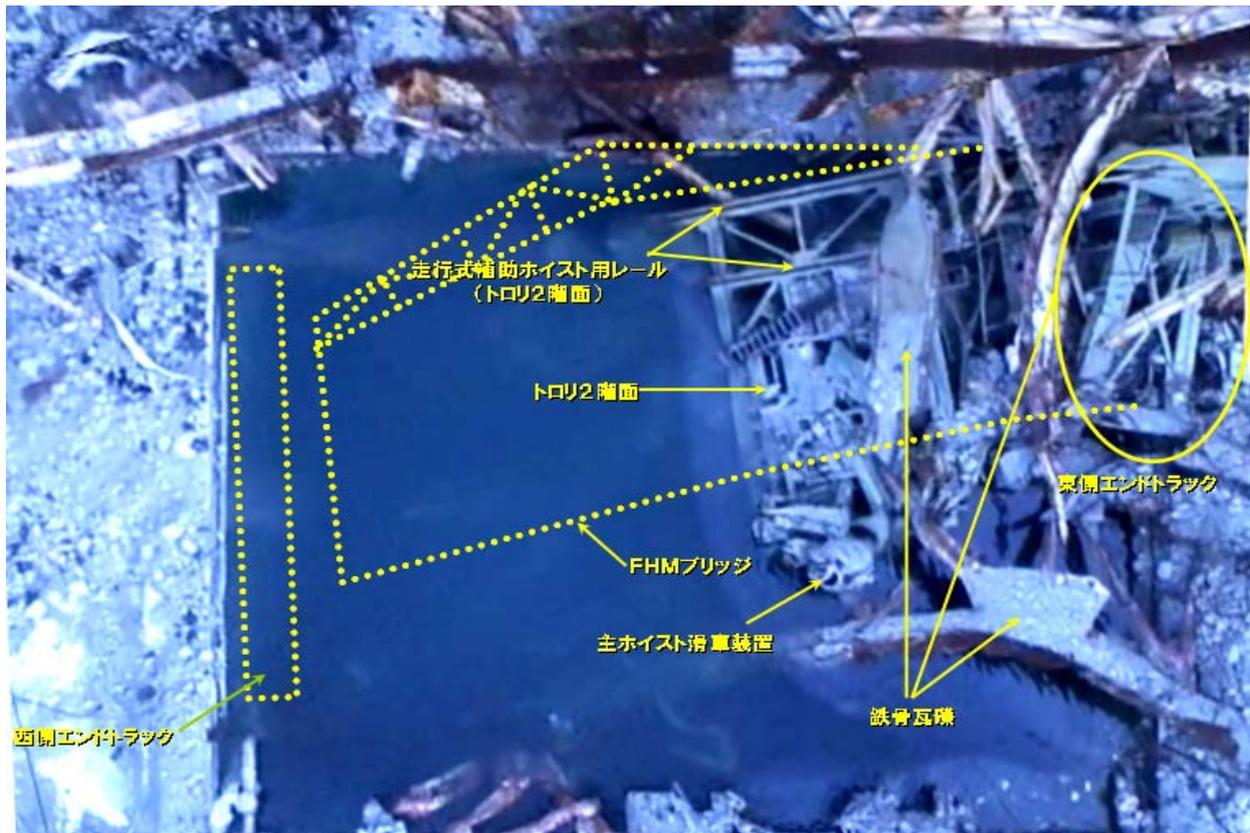


3. SFP内調査状況

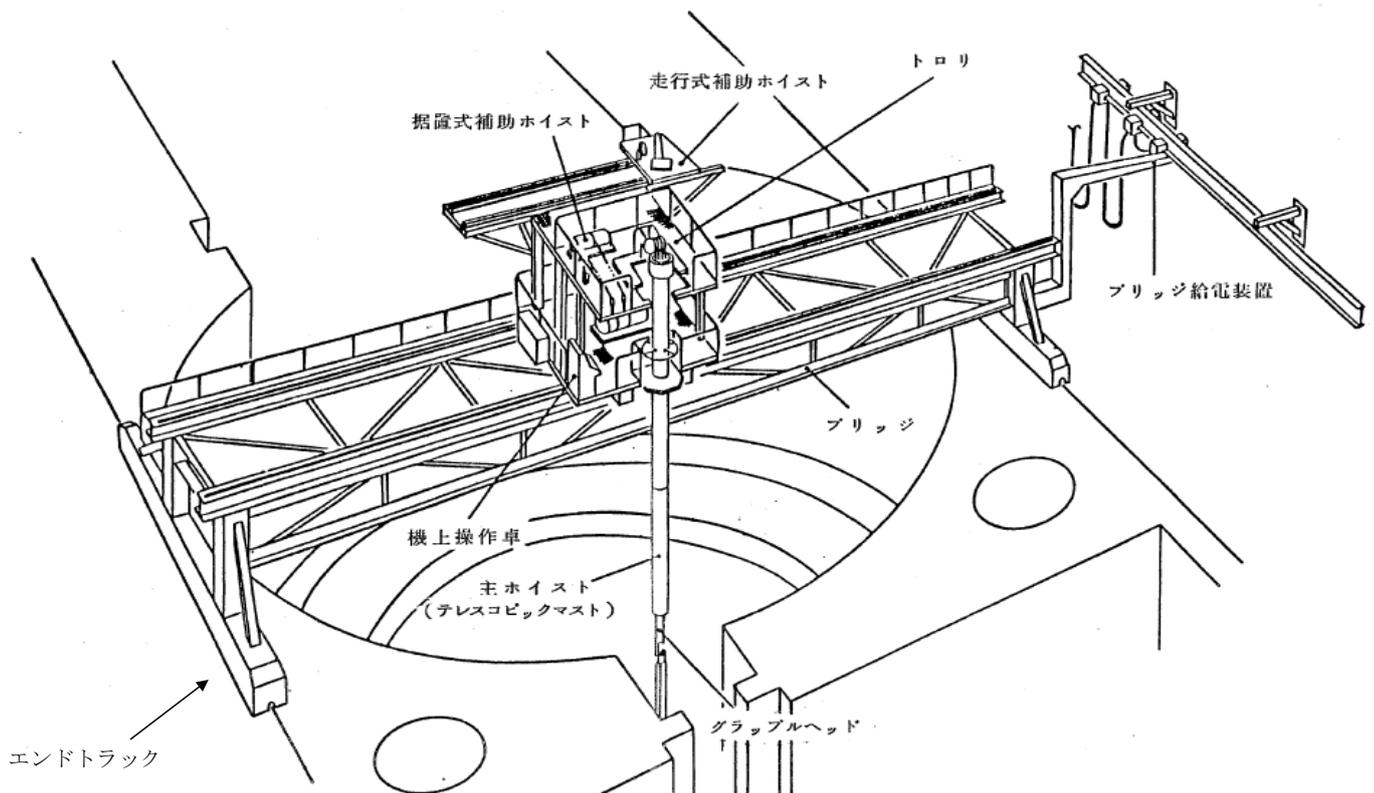


4. 燃料交換機の落下範囲（推定）

○水中カメラの調査により燃料交換機の状況について推定（10月15日時点）



5. 燃料交換機概要図



6. 今後の計画について

◆今後の計画

- ・次回は、今後のプール周辺瓦礫の撤去状況を踏まえ、今回確認できなかった箇所を調査する。
- ・なお、今回の調査データを整理し、SFP内に落下している燃料交換機及び瓦礫類の撤去計画に必要な情報に不足がある場合は、再調査を実施する予定。

◆調査方法

今回と同じ調査方法を予定

◆調査時期

SFP周辺の瓦礫が撤去された後、SFP開口部養生前に詳細確認を実施予定